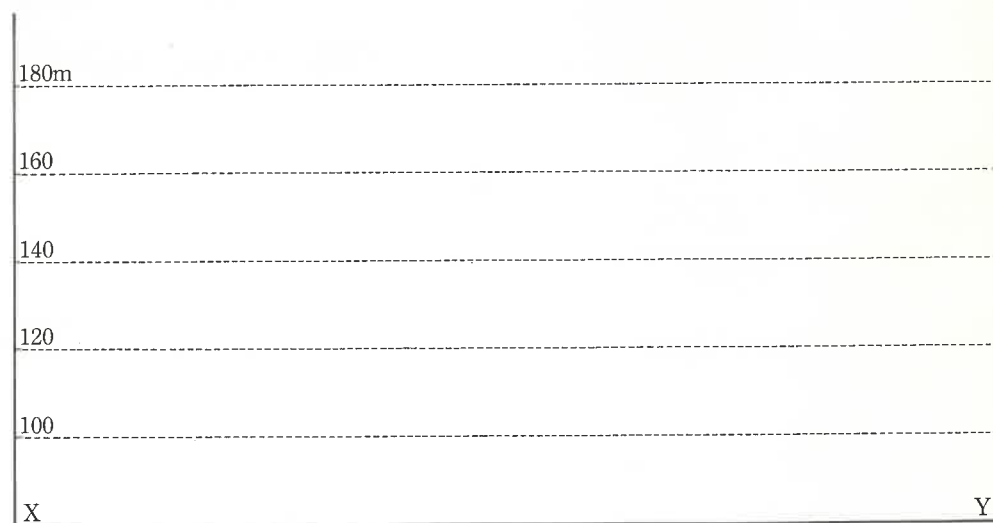
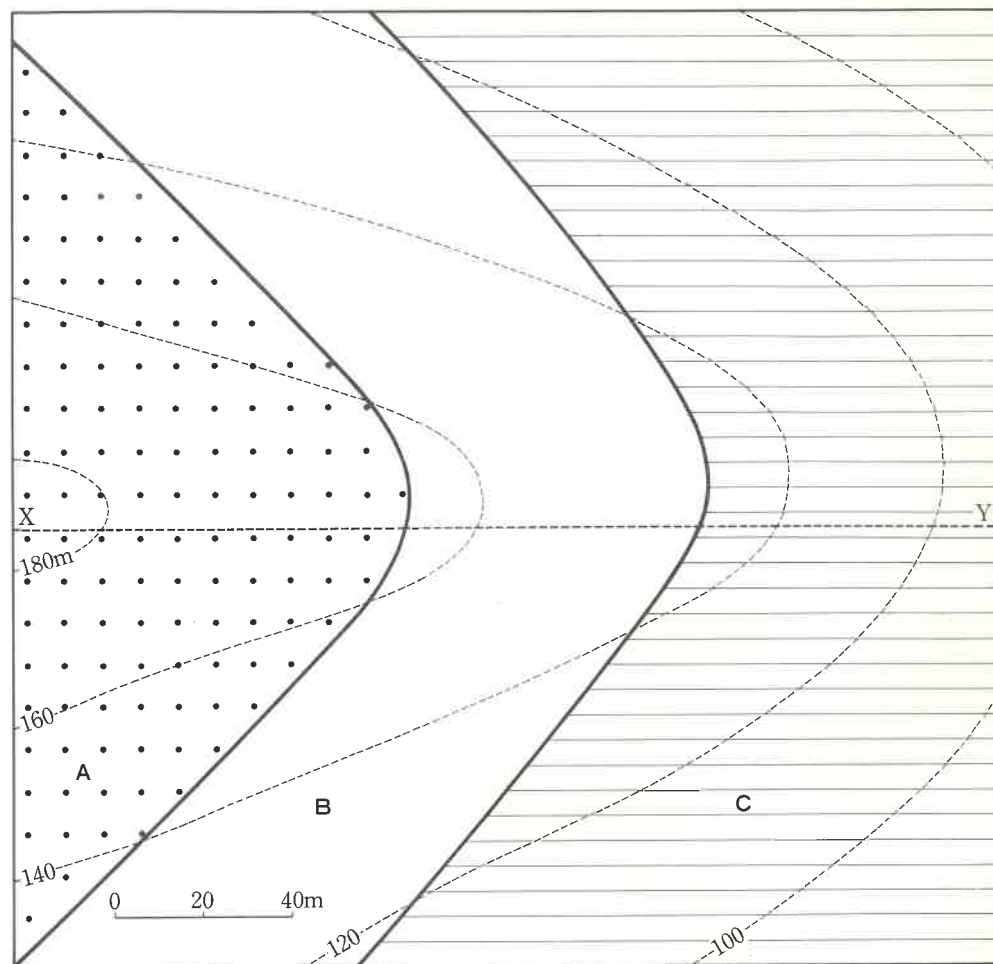


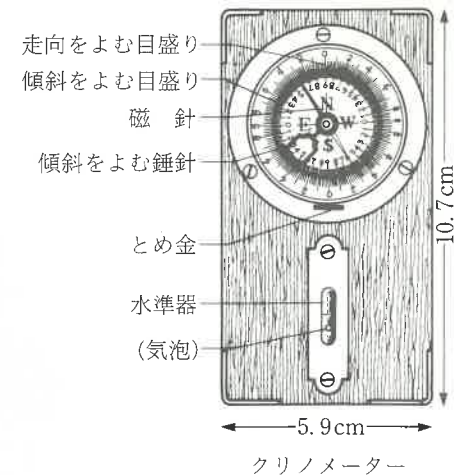
〔作業3〕

下の図は整合に重なる地層をあらわした地質図である。
X—Yの線における断面図を下欄に作成せよ。

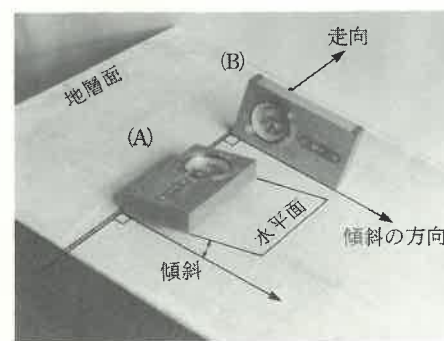


〔作業4〕 ()の中に適当な言葉を記入せよ。

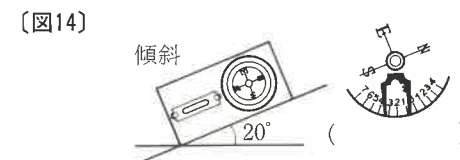
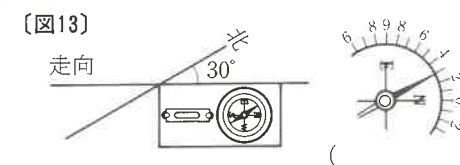
- 右のクリノメーターの図を見て、構造を調べる。
 - N・S・E・Wがどのように配置されているかを調べ、なぜこのようにしてあるかを考えてみよ。特にE・Wとが逆になっている理由を考えよ。
 - 磁針の目盛を読むのは、()側の目盛盤による。
 - 傾斜の目盛を読むのは、()側の目盛盤による。
 - 机の上にクリノメーターをおいて、水準器の気泡がまん中にきていれば、クリノメーターの長い辺の方向に引いた直線は()である。
- 方位の測り方の練習をする。
 - クリノメーターの磁針がN—Sとかさなるように机の上におくと、クリノメーターの長い辺の延長方向はどちらをむいているか。()
 - 磁針がE—Wをさしているときのクリノメーターの長い辺の延長方向はどちらをむいているか。()
 - 磁針が45°左をさしているときのクリノメーターの長い辺の延長方向はどちらをむいているか。()
- 走向の測定を実習する。
 - 図12のように箱の上に板をおき、それを傾斜した地層と仮定する。
 - 図12(A)のようにクリノメーターを地層の表面に水平に保ち、地層面と長辺とがなす直線の方向が走向である。このとき、図13のように外側の目盛3のところを指したとき()と読む。
- 傾斜の測定を実習する。
 - 図12(B)のようにクリノメーターを縦にして、その長い辺を地層面に沿って走向に直角にあてる。
 - ハート型の錘針の中央が内側の目盛を指す点が傾斜角である。このとき、図14のように指針が2のところを指していれば傾斜は()である。このとき、走向を測定したときに方位を確実にしておき、傾斜の方向を知らなければならない。傾斜の方向とは地層面が走向に対して直角の方向で低くなった方向(図12(B)参照)である。



〔図11〕



〔図12〕



	天気	気温	組	番号	氏名
月 日					

実習 12

地質図の基礎実習

〔目的〕

地形と地層のあらわれ方を調べ、地質図の読み方・かき方を理解する。

〔準備〕

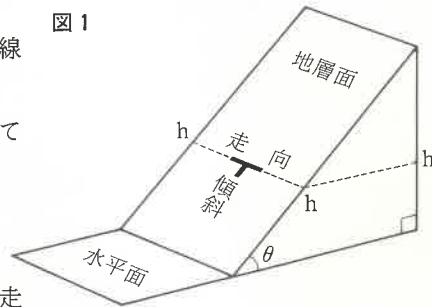
三角定規、ものさし、色鉛筆、クリノメーター

〔基礎事項〕

1. 走向の求め方

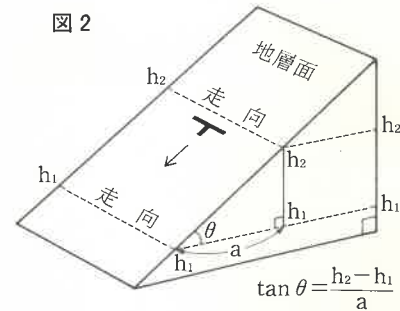
走向とは地層面の水平方向のことで、このため走向線上ではどこでもその高度は等しい(図1)。

地質図で地層境界線が同じ等高線と2か所で交わっているとき、その2点を結んだ直線が走向である。



2. 傾斜の求め方

地層面上に2本の走向線を引くとき(図2)、傾斜は走向に垂直で、低い方の走向側に傾斜している。



3. 走向・傾斜から地層の分布を調べる。

- ① 走向線を延長し、同じ高度のところに印をつける。
- ② 他の走向線を引く。このとき線の間隔は(図2)等高線の高度差 ($h_2 - h_1$) と、地層の傾斜角 θ で決定する。
- ③ たくさん付けた印をなめらかな線で結ぶとよい。

〔作業1〕

1. 図3, 図4は地形図に、地層のあらわれ方のいろいろをあらわしたもの(地質図)である。それぞれの地形(尾根, 谷)をa欄に書け。また、各図の地層の走向・傾斜をd欄に記入し、その略記号をc欄に記入せよ。

2. 図3, 図4は図5~図10のどれにあたるか選び、b欄に記入せよ。

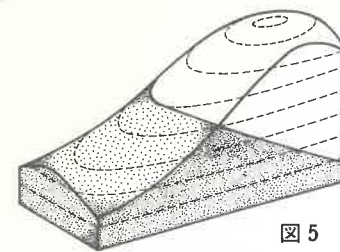
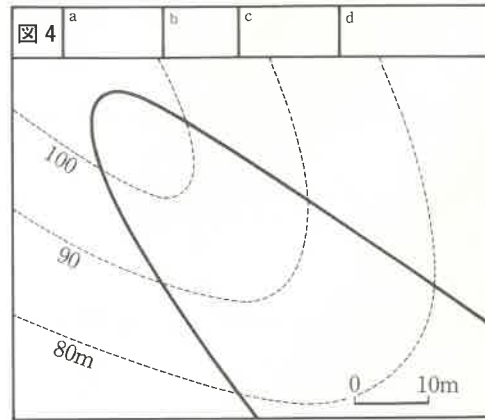
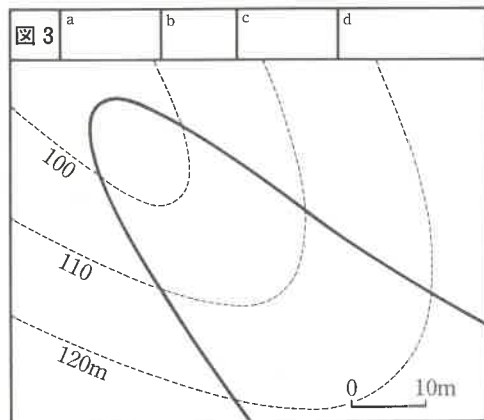


図5

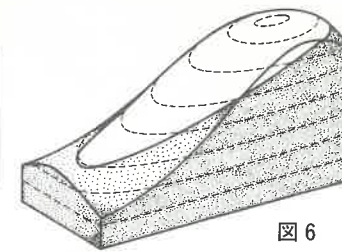


図6

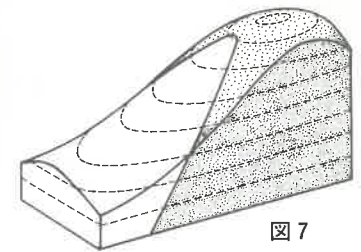


図7

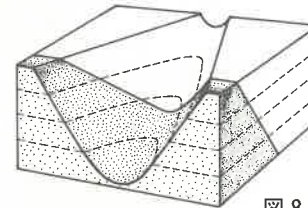


図8

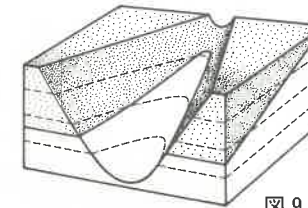


図9

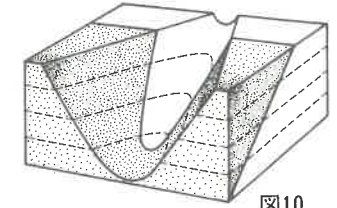


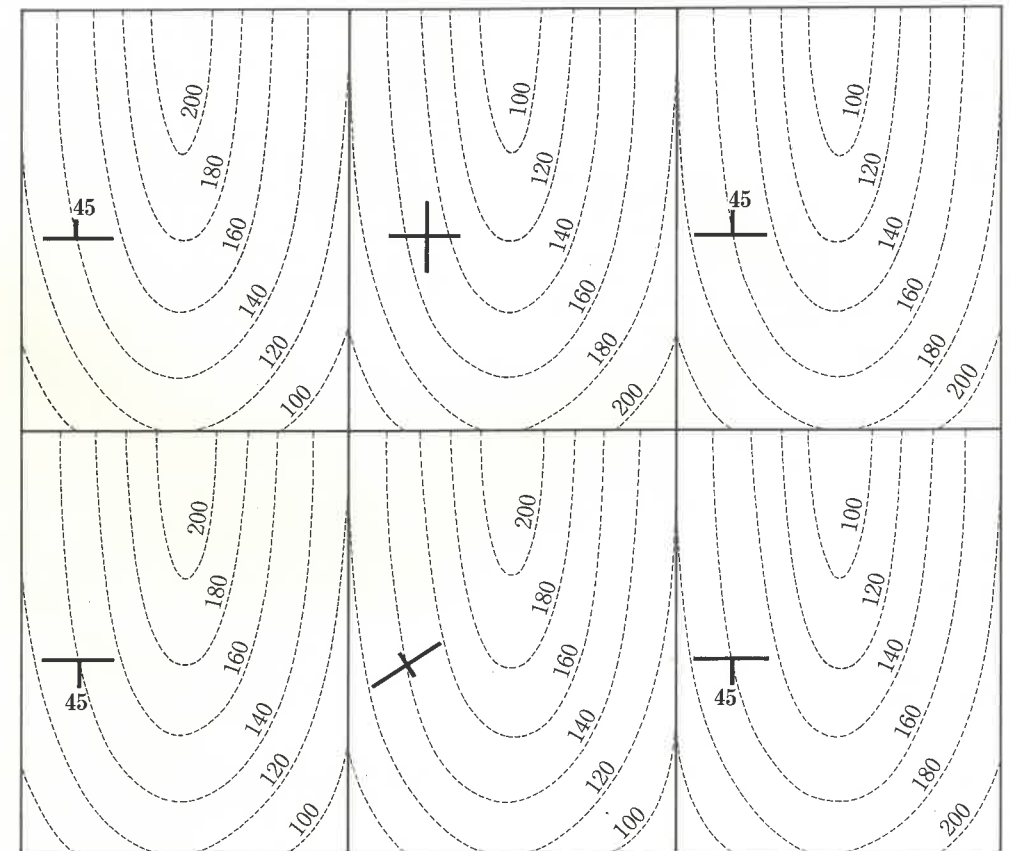
図10

〔作業2〕

下の各図中のK点に、それぞれ記号で示した様な露頭があった。露頭線を赤でかけ。

ただし、縮尺はいずれも同じとする。

0 20 40 60 (m)



	天気	気温	組	番号	氏名
月 日					